

「熊本城築城への道」

2019年3月30日

熊本城調査研究センター 河本愛輝

はじめに

1、茶臼山周辺の環境

熊本市周辺の地理…西：有明海。北西：金峰山。東：阿蘇山。中央：熊本平野、白川水系、
緑川水系と河岸段丘。南：宇土半島、雁回山。

茶臼山 …京町台地の先端、9万年前の阿蘇山火砕流(Aso-4)が基盤。複雑かつ歪な形。
→白川水系(坪井川・井芹川等の支流)の蛇行による浸食。→沖積平野の形成。

→9万年前～：茶臼山・熊本平野の形成(地の利の形成)

2、茶臼山周辺の古代

春日部屯倉 … 安閑2年(535)、大和朝廷の耕地と耕作民が付属する直轄地 現：西区春日町が推定地

伝大道寺遺跡… 平安時代初期の瓦が大量に出土。飽田郡の郡寺か。建部公の存在。

古城横穴墓 … 6世紀後半～7世紀前半にわたって造営。53基の横穴墓。「火守」の閉塞石。

千葉城横穴墓… 7世紀中頃の造営。10基の横穴墓。

藤崎宮 … 935年造営。宇佐八幡宮からの勧請。門前町→古京町。



3、茶臼山周辺の中世

南北朝「隈本城」の初見…永和3年(1377)「藤崎城」→現：藤崎宮一帯。「隈本敵城」→祇園山?
出田氏と隈本城(千葉城)…藤崎宮と宮内荘の管理。文亀二年(1502)、菊池能運の勢力回復→失敗。
鹿子木氏と隈本城(古城)…大永・享禄(1521-1532)頃、鹿子木寂心の築城。

菊池義武(大友義鑑の弟)の擁立。

大永2年(1522)、藤崎八幡宮の遷宮。

天文3年(1534)義武の筑後侵攻。菊池義武対大友氏へ。

天文23年(1554) 菊池氏の滅亡と鹿子木氏の没落。

城氏と隈本城(古城) …天文19年(1550) 城氏の入城。親大友から親龍造寺、親島津へ。

天正8年(1580)3月且過の瀬の戦い・4月詫麻原の戦い。

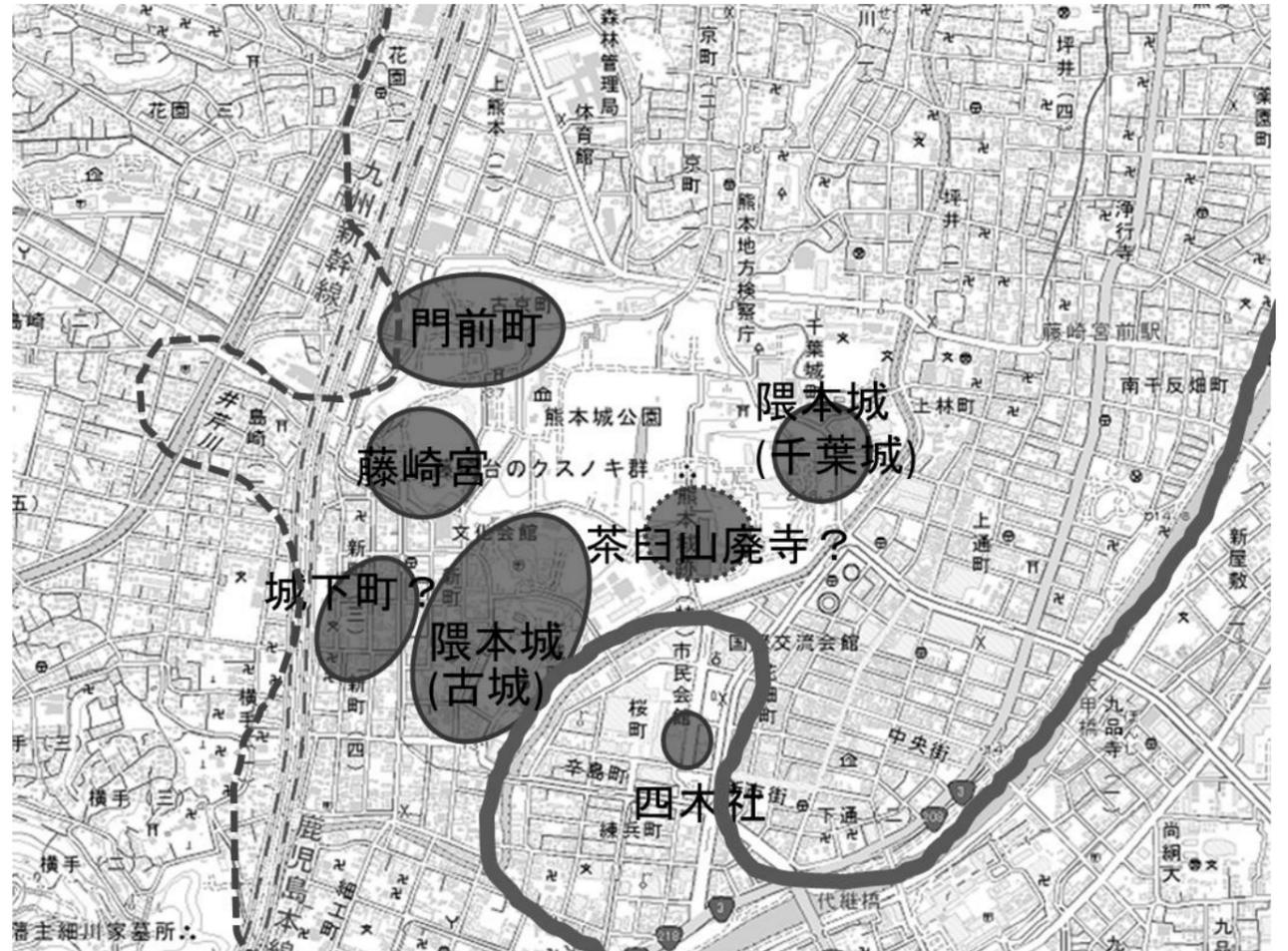
10月矢崎城・網田城、11月合志城への攻撃。

天正9年(1581)島津氏、隈本番衆を置く。阿蘇氏逃走→島津氏の肥後攻略。

熊本市内の中世城郭 …熊本県の中世城郭464城、熊本市の中世城郭44城。

上松尾城、楠原城、小山城、妙見城など。

→政治・経済・宗教・軍事 社会的活動の蓄積



4、茶臼山周辺の近世初頭

九州平定戦 …天正 14 年(1586)7 月秀吉対島津氏。翌年 3 月 1 日京都発。28 日九州上陸。
3 月 16 日・17 日秀吉、熊本に 2 泊。5 月 3 日島津氏降伏。
6 月 1 日熊本にて国人衆の所領安堵。新たな領主の誕生。

佐々成政肥後入国…秀吉の命令→熊本名城候条、為居城普請丈夫ニ被仰付候事 ・定書。

肥後国人一揆…天正 15 年 7 月、検地の強行実施。隈部親永らの一揆の発生。12 月までに鎮圧。

戦後処理と清正の登場…天正 16 年(1588)、宇土城に加藤清正、熊本城には浅野長政
加藤領肥後北半国隈本 19 万 5 千石 ⇄ 小西領肥後南半国宇土 14 万 5 千石
→隈本在城儀被仰付候条

→11 年前：秀吉の命令

隈本城の整備…磊(=らい、石垣)、おうへ(=広間、御殿)、天守の造営。

朝鮮出兵 …文禄の役：天正 20 年(1592)4 月釜山に渡海。5 月に漢城。10 月までオランカイへ進出。

文禄 2 年(1593)6 月まで漢城へ転進。

文禄 5 年(1596) 閏 7 月、清正一時帰国。大坂？

慶長の役：慶長元年(1596)11 月、再び朝鮮へ渡海。

慶長 2 年(1597)8 月、全羅道・忠清道へ軍勢を侵攻。

12 月から 5 万 7 千人の明・朝鮮軍と籠城戦を展開(11 日間)。

明・朝鮮連合軍が撤退 9 月にも蔚山城で第二次籠城戦を戦い、撃退

→7 年前：朝鮮出兵の経験

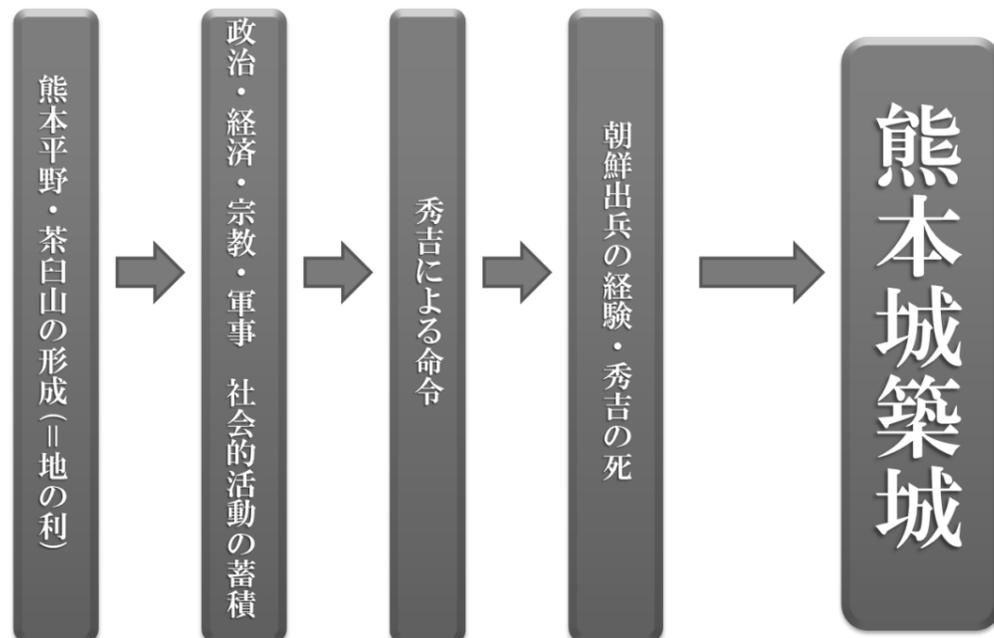
秀吉の死 …朝鮮からの撤収。文治派と武断派の対立、国内動乱の予兆。

毛利元康 慶長 3 年(1598) 神辺城から王子山城へ

大村喜前 慶長 3 年(1598) 三城城から玖島城へ

有馬晴信 慶長 4 年(1599) 日野江城から原城へ

松浦鎮信 慶長 4 年(1599) 日岳城から平戸城へ



慶長 4 年(1599)7 月 29 日付け清正書状に「普請を昼夜の境なく申付け」という百姓動員令

関ヶ原の戦い …慶長 5 年(1600)8 月家康、清正に東軍の参戦を認める。10 月 17 日小西領の宇土城・八代城

(麦島城)を攻撃。10 月 25 日 立花宗茂領の柳川城を攻撃。

11 月 22 日加藤・黒田・鍋島・立花の連合軍で津奈木・水俣へ

戦後の論功行賞…慶長 6 年(1601)3 月、肥後守叙任。肥後熊本 54 万石の大大名となる。

結果的に大城郭に相応しい領地を獲得。

隈本への改名 …慶長 12 年(1607)、「御城出来候に付」隈本を熊本に改名する御触れが出される。

ここに今日姿をみることのできる熊本城本丸が完成(他の地域は工事継続)。

さいごに

【主要参考文献】

熊本城調査研究センター定期講座「熊本城学」各発表レジュメ

大田幸博, 2003, 「肥後の中世城」『熊本歴史業書 3 戦乱を駆けた武士たち』, 熊日出版.

熊本城調査委員会, 1979, 『熊本城二の丸・三の丸遺跡調査報告書』

熊本県, 1978, 『熊本県の中世城郭』

熊本県教育委員会, 1989, 『熊本県文化財調査報告 102: 山田城跡 1』

熊本県教育委員会, 2012, 『熊本県文化財調査報告 269: 熊本城遺跡古城上段』

熊本市, 2016, 『特別史跡熊本城跡総括報告書 一整備事業編一』

熊本市, 2019, 『特別史跡熊本城跡総括報告書 一歴史資料編一』

熊本市史編纂委員会編, 1998, 『新熊本市史 通史編』第 1 巻 自然・原始・古代編

熊本市史編纂委員会編, 1998, 『新熊本市史 通史編』第 2 巻 中世編

熊本市史編纂委員会編, 2001, 『新熊本市史 通史編』第 3 巻 近世 I 編

熊本市史編纂委員会編, 1996, 『新熊本市史 史料編』第 1 巻 考古資料編

熊本市史編纂委員会編, 1993, 『新熊本市史 史料編』第 2 巻 古代・中世編

熊本市立熊本博物館, 2011, 『西海道と肥後国 一出土品からみた古代のくまもと一』図録

鈴木喬, 2002~03, 「隈本城から熊本城へ 1~3」『熊本城』復刊第 47 号~第 49 号, 熊本城顕彰会.

富田紘一, 2008, 『熊本城 歴史と魅力』, 熊本城顕彰会

富田紘一, 2006~07, 「熊本城 歴史と探訪」第 1 回~第 7 回第 63~69 号, 熊本城顕彰会.

村上豊喜, 2010~13, 「熊本城前史 中世の隈本城(1~10)」80~89 号, 熊本城顕彰会.